

広報

村のいとなみを伝えるマガジン

2026
No.687

8



しよわ



今月の表紙 2026.7.13

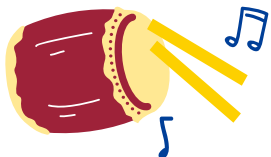
内堀雅雄知事が小野川地区へ

7月13日、内堀雅雄知事が昭和村を訪れました。小野川に移住した宇野宏泰^{こうた}氏に取り組む有機農法の水田を現地視察する予定でしたが、あいにくの雨のため、小野川生活改善センターで宇野氏らとの意見交換に変更となりました。

意見交換では、地域づくりや有機農業への取り組みなどについて話し合われました。また、知事は「村民の温かい人柄があり、それは豪雪の中で互いに助け合いながら伝統や文化を守ってきたところが昭和村の魅力だ」と述べ、村の魅力を高く評価されていました。

第39回からむし織の里フェア

- ① 鼓笛パレード
- ② 着物ショー
- ③ 盆踊り
- ④ 風船の国のアリス バルーンアート
- ⑤ 小林金雄氏によるカラオケ披露
- ⑥ 畑見学
- ⑦ からむし引き体験
- ⑧ 会津田島小太鼓演奏



7月18日、第39回からむし織の里フェアが開催されました。昭和小学校児童による鼓笛パレードで幕を開けました。今年新たに、からむし引き体験や昭和村出身の歌手・小林金雄さんによる歌唱が実施されました。

会場は村民ステージやカラオケ大会とともに大いに盛り上がり、多くの出店で賑わう中、最後は盆踊りが行われ、村内外から訪れた参加者が夏のひとときを楽しみました。



小学校自然教室

6月19日に、小学校全体で自然教室が行われました。会津里山森林資源育成研究会の会長である星比呂志さんから、水芭蕉としらかばの杜の植生について詳しく説明していただきました。

水芭蕉としらかばの杜を見学した後は、道の駅にあるラッキー公園の周辺で思い切り遊び、楽しい時間を過ごしていました。

※令和8年度福島県森林環境交付金活用事業





第32回ふるさと会津 昭和村会総会開催

6月21日、東京都上野精養軒にて、第32回ふるさと会津昭和村会総会と懇親会が盛大に開催されました。会員48名に村内からの来賓12名が加わり、合計60名の賑やかな集まりとなりました。

久しぶりに再会した友人たちとの懐かしい思い出話に花が咲き、時間を忘れてしまうほど大いに盛り上がりました。



芋麻育 「からむしタペストリー作り」

7月2日に、小学1・2年生を対象にからむしが製品になるまでの行程を学びました。村の宝である「からむし」について、からむし生産技術保存協会の舟木由貴子さん（下中津川）の指導のもと、からむしタペストリーを作成しました。

経糸に対して、緯糸となるかすみ草やからむしを交互に入れ、織物をしているかのように子どもたちは楽しみながら制作に取り組んでいました。



芋麻育 「からむし引き」

7月15日に野尻コミュニティセンターで、小学3・4年生を対象としたからむし引きの体験が行われました。まず、野尻のからむし畑に出向き、からむしの刈り取り方や長さを揃えるポイントを学びました。

その後、皮を剥ぎ、からむし引きを体験しましたが、初めての経験にも関わらず楽しみながら、からむしから繊維を取り出す過程を学んでいました。



農業委員新体制となる

7月21日、農業委員会及び農地利用最適化推進員が改選され、新たな体制となりました。

農業委員は、農地の権利移転や農地転用に関する許可、耕作放棄地の発生防止、遊休農地の解消等について審議する機関です。

農地利用最適化推進員は、農地利用の最適化（農地賃借における情報提供や協議促進）を推進します。



前列右側より
佐々木和義会長職務代理（松山郷田里加子委員（中向））
本名 亀雄会長（下中津川）
本名 敏弥委員（下中津川）
本名 正則委員（下中津川）
工 信幸委員（小中津川）
後列右側より
五十嵐富夫委員（両原）
林 玄三郎委員（喰丸）
本名 智委員（両原）
五十嵐孝博委員（大芦）
齋藤 一美委員（小野川）
○農地利用最適化推進委員
本名 敬委員（下中津川）
長谷川 洋委員（下中津川）

公民館日誌

○千歳学級「健康教室」 6月17日

すみれ荘で食事と運動をテーマに、千歳学級「健康教室」を開催しました。

前半は保健福祉課の酒井保健師から「シニア世代の食事～元気をつくる食習慣」について説明を行い、栄養に関する知識と日々の食事に取り入れやすい手軽な調理例を学びました。その後、カルシウムやタンパク質がたっぷり摂れるメニューとして、高野豆腐の照り焼き、小松菜と桜えびの和え物、きのこの味噌汁、ヨーグルトムースの4品を調理し、美味しくいただきました。後半は保健福祉課が毎月開催しているちょいフィットに参加し、ストレッチを中心とした誰でも無理なく行える軽運動で心地よく身体を動かしました。(共催：保健福祉課保健係)



○千歳学級「季節の苔玉づくり教室」 7月2日

公民館で千歳学級「季節の苔玉づくり教室」を開催しました。講師に佐藤生花店(会津坂下町)の佐藤和弘さんをお迎えして、初雪っ子(ハツユキカズラの品種名)を使った苔玉づくりを教えていただきました。

はじめに苔玉の概要についてお話を伺った後、製作に取りかかりました。よく捏ねた土で植物の根を包み、周りを水苔で覆って糸でしっかりと巻きながら形を整え、夏にぴったりな涼しげな苔玉を完成させました。最後に、それぞれの作品を鑑賞しながら育て方や管理方法をご説明いただき、お気に入りの苔玉を日々育てる楽しみができました。



○駒止湿原自然観察ウォーキングを開催しました！ 7月4日

7月4日、国指定天然記念物の駒止湿原で、自然観察ウォーキングを開催しました。

台風・雨の影響で1週間延期しての開催となりましたが、当日は8名が参加し、晴天の駒止湿原を散策しました。当日は案内の会のガイドの方のもと、大谷地地内を巡り、ニッコウキスゲ、トキソウ、サギスゲなどを観察しながら、思い思いに写真に残していました。

特にガイドの方から、ニッコウキスゲの一輪の花は咲いてから1日で散ってしまうとの説明を受け、その儚い美しさに参加者は見入っていました。

貴重な自然に触れることができた1日でした。



駒止湿原自然観察ウォーキングの様子は右のQRコードより確認できます。

会津地方防災訓練 昭和村総合防災訓練のお知らせ

～日頃の防災意識を高めましょう～

9月6日（日）に会津地方防災訓練が昭和村において開催されます。当日は、陸上自衛隊、福島県防災ヘリコプター、広域消防署から梯子車等、また、昭和村消防団、昭和小学校・中学校等多数の機関が参加しますので、ぜひご見学いただきますようご案内いたします。

1. 日 時 令和8年9月6日（日） 午前8時15分～正午12時
2. 開催場所 昭和村公民館、昭和小学校
3. 内 容

会 場	時 間	内 容	参加団体等
第1訓練会場 (昭和村公民館)	8:15 ～8:40	職員非常招集訓練、消防団出動訓練、情報収集・伝達訓練、安否確認訓練	役場、消防団、婦人消防連絡協議会
第2訓練会場 (昭和村公民館)	8:45 ～ 9:05	避難訓練、避難者搬送訓練	陸上自衛隊、会津坂下警察署、小学校・中学校
第3訓練会場 (昭和小学校)	9:15 ～ 11:00	防災ヘリ救助訓練、梯子車隊救助訓練、放水訓練、応急手当訓練、避難所開設訓練	広域消防署、県消防防災航空センター、役場、消防団
第4訓練会場 (昭和村公民館)	11:10 ～ 11:40	倒木除去訓練、ライフライン応急復旧訓練、防災ドローン活用訓練	東北電力、NTT東日本、NTTドコモ、役場
第5訓練会場 (昭和村公民館)	11:45 ～ 11:50	炊き出し訓練	陸上自衛隊、役場
展示・体験 (昭和村公民館)	8:45 ～ 11:50	初期消火体験、煙体験、救命救急講習、車両及び各種機材展示	広域消防署、陸上自衛隊

- ・昭和村公民館では、車両及び各種機材展示を行います。（写真撮影可能）
- ・炊き出し訓練で、カレーを配給します。（12:00～）
- ・駐車場は、役場駐車場またはすみれ荘駐車場をご利用ください。
- ・緊急車両が、会場付近の一部村道・農道を通行・停車・待機することがあります。

【お問い合わせ】 総務係 ☎ 57-2111



村の今をお知らせします！

令和8年第2回定例議会

お知らせ
information

行政報告

村では、定例議会ごとに、各分野の事務事業などの進捗状況などを行政報告として議会に報告しています。今回は6月議会における報告のあらましを昭和村第6次振興計画の基本目標に沿ってお知らせします。

今回の主な話題

- 地域おこし協力隊が着任
- 安心して暮らせる村づくりを推進
- 「しょうわ科」がスタート
- 農業と伝統産業の担い手を育成
- 持続可能な村政運営を目指す

持続可能な協創のむら

集落の維持が困難になりつつあるなど、本村の様々な問題や課題の根底にある人口減少の解決に向けて、デジタルコミュニケーションの運営などを行う地域おこし協力隊1名を採用し、6月1日付けで委嘱状を交付しました。

心地よく暮らすはるな

(保育所)

4月3日に昭和村保育所の入所式が行われ、4名の園児を迎え、新年度が始まりました。5月初めにも、新たに1名の入所があり、6月1日現在で、22名の子どもたちが、元気に通所しています。

(保健事業)

健康意識の向上や、介護予防を目的とし、働き世代の青壮年(せいそうねん)及びシニアを対象とした「ちよいフィットしょうわ」運動教室を、今年度も5月末より開始しました。

(社会教育・社会運動)

各種の学級や講座が4月に開講し、今年度も多くの受講生が参加をしています。

また、5月31日には第59回昭和村総合運動会を開催し、スポーツを通して村民相互の交流が図られました。

(からむんバス)

からむんバスの利用状況については、昨年度は令和6年度と比較し約900件増の2479件の実績となり、村民の村内移動手段として必要不可欠な公共交通の一つになっています。

(非常時の体制維持)

災害時等の拠点施設となる役場庁舎の整備は、4月9日に第2回拠点施設整備検討委員会が開催され、検討委員会としての整備エリアが決定されました。

生きる力を育む教育の村

(学校教育)

4月6日に昭和小学校、昭和中学校共に入学式と

始業式が執り行われ、新学期が始まりました。

(小中連携教育・特色ある教育活動)

今年度も昭和小学校と昭和中学校の相互の教員による乗り入れ授業を行っているっており、専門的な指導の提供と、小学校から中学校への円滑な接続を目指していくほか、保小中一貫教育プログラムとして、保育所から小学校、中学校まで「花育」や「芋麻育」、「伝統文化」などを系統的に学習する「しょうわ科」を今年度創設しました。

(昭和中学校)

3年生が4月20日から2泊3日の日程で、東京へ「しょうわ科」のプログラムの一つである修学旅行に行き、大都市での産業や文化を体験する活動を通して、昭和村の良さや魅力について考える貴重な機会となりました。

また、5月12日から2日間、会津若松市で開催された全会津中体連陸上大会では、小規模校ではありますが、生徒は日頃の練習の成果を存分に発揮

しました。

(教育関連施設)

今年度も教育施設部会を中心に、基本構想の策定に向けた協議を進めています。



生業と誇りある仕事を生む村

(農業の振興)

本村の令和8年における主食用米の作付予定面積については、4月末時点で157ヘクタールとなり、昨年の実績より12ヘクタールの増加となりました。

また、「昭和かすみ草」については、昨年度の販

売額は、過去最高の売り上げを記録した令和6年度の、6億6千220万円を記録しました。

(からむし織体験生事業)

昨年度に採用された32期生3名が体験を修了し、引き続き1名が研修生となったほか、今年度においても、5名の体験生が33期生として5月から入村し、からむしの栽培から織りに至る全工程と山村生活の体験が始まっています。



先端的過疎への挑戦

本村のDXやドローンの取り組みについて、5月13日に東京で開催されたセミナーやイベントに登壇し、全国の自治体や企業に対し説明や情報の発信を行いました。

また、デジタル活用の普及啓発をさらに進めるため、スマホ・タブレット相談会を計画しているほか、デジタルに慣れ親しんでいただくための「デジタル何でも相談室」も設置しました。

さらに、公共インフラWiFiネットワークについては、利用登録者数が346件となり、着実に増加し、宅内で利用する際の受信状況を改善するための中継器の導入も5月末時点で73台が導入されました。

選択と集中の行政運営

(生活基盤の整備)

昨年度からの繰越事業である村道舗装改良工事の村道下中津川富田線は、



4月初めに工事を再開し、6月30日の完了を見込み、石取山橋の橋梁補修設計業務委託及び村道喰丸下日影線の村道舗装改良工事測量実施設計業務委託は5月15日に入札を執行しました。

(持続可能な自治体経営の確立)
人口減少や少子高齢化が進む海士町と本村が相互に連携及び協力し、人材育成、地域産業、DX、地域政策に関する取組の連携を深めることで、持続可能な地域社会の新しいモデルを構築し、双方の発展に寄与することを目的に、島根県海士町(あまちょう)と小規模自治体の持続可能な地域経営に関する連携協定を4月17日に締結しました。

昭和村から出るごみの中身は？

燃やせるごみの内容物調査を実施しました。複数地区から約43.5kgの燃やせるごみを回収し、全体の一部の数量でしたが、傾向がわかりましたのでお知らせします。

種 別	重 さ	割 合	令和7年度の 検査結果(割合)
①リサイクル可能な紙類(段ボール、新聞・チラシ、雑誌・包装紙、空き箱・紙パック飲料容器等)	5.8kg	13.3%	17.2%
②リサイクル可能な衣類	2.4kg	5.5%	0.6%
③リサイクル可能な容器包装類(プラスチック、ペットボトル、びん等)	4.0kg	9.2%	8.3%
④木・竹・わら	0.0kg	0.0%	2.4%
⑤生ごみ	8.0kg	18.4%	26.4%
⑥その他のごみ (上記以外のもの。ティッシュ・キッチンペーパー、紙おむつ、ゴム皮類、その他のプラスチック製品、燃やせるごみ以外のものなど)	23.3kg (うち、燃やせないごみ1.2kg)	53.6% (うち、燃やせないごみ3.6%)	45.1%
計	43.5kg	100%	100%

ポイント！

令和7年度の検査と比較すると、紙ごみの割合は減少していますが、まだ多くの分別可能な紙類が混ざっていました。昭和村全体の年間量に換算すると、**なんと26t**にもなります！仮にこの量すべてを資源として活用できたとしたら、ごみ処理経費削減・環境負荷抑制に繋がります。

引き続き、ごみの分別にご協力をお願いします。

【お問い合わせ】 保健福祉課 ☎ 57-2645



会津版「図柄ナンバープレート」を導入します

会津地域の17市町村では、会津地域の魅力を広く発信し、観光振興や地域イメージの向上につなげるため、自動車用の「会津版図柄ナンバープレート」を導入します。

図柄ナンバープレートは、地域の風景や観光資源を図柄として取入れ、地域の魅力を全国に発信することを目的としています。

ナンバープレートに使用する図柄デザインは、**令和8年8月14日(金)～10月15日(木)**にかけて公募を行う予定です。

応募方法等の詳細はホームページ上でお知らせします。

会津ナンバー
特設ホームページ →



【お問い合わせ】 昭和村役場 総務課総務係 ☎ 0241-57-2111
会津総合開発協議会 事務局 ☎ 0242-24-6312

受付フォーム



「皆さんの声聞かせてください」事業へのご提案・ご意見を頂戴しましたので、その内容と、村からの回答をお知らせします。

ご提案・ご提言は、役場に備え付けの提案用紙または、村ホームページから行えますので、お気軽にご意見をお寄せください。



01 公共インフラWiFiの通信について

【ご提案内容要旨】

村内でWiFi環境が整備されてから数年が立ちますが、接続中に場所を移動すると通信が切れてしまいます。また、「村内と村外で通信を分けている」と聞きますが、その場合、村外から訪れる方はさらに接続しにくい状況ではないかと思えます。他の自治体でWiFiを整備している所と比べて、使い勝手が良くないように感じてしまいます。

災害時でも安定的に通信ができるように、通信環境の強化・改善を要望します。

【回答】

現在のご利用状況を確認した上で、設備側の設定変更やアンテナ方向変更等で改善される場合には迅速に対応いたします。また、調査の結果、各種調整で改善が見込まれない場合には、通信拠点の増設や追加を検討いたします。

村外の方につきましては、通信が混雑した際に優先度が下がる設計となっております。おり、一様に繋がりにくいということはございません。加えて災害時の対応ですが、本村は福島県内の自治体で唯一、全国的統一SSID「000000-JAPAN」に加盟しており、災害時には認証等を必要とせず多くの方がWiFiの利用を行える仕組みに参画しております。また、近隣自治体で公衆WiFiを整備している自治体もございいますが、本村では、すべての局に無停電電源装置を搭載することで、停電時でもご利用が可能となっております。他の自治体にはない設備も有しております。

また、電波状況の改善依頼等は随時受け付けておりますので、ご利用いただく中で、気になる点がございましたらご連絡ください。



電波状況改善
依頼フォーム

きちんと食べて水分補給

熱中症予防のためこまめに「水を飲む」ことを心がけていると思いますが、「食べもの」でも水分は摂ることができます。野菜や果物は大事な水分補給源で、特にトマト、なす、きゅうりなどの夏野菜は90%以上が「水分」で、ミネラルやビタミンも含まれています。また、旬の果物も水分が多く、すいか1切れ、桃1個（約200g）には180ml程の水分が含まれています。主食、主菜、旬の野菜をバランスよく食べ、おやつに果物を食べてしっかり水分補給をしていきましょう。

県立宮下病院 管理栄養士 小野知恵

【お問い合わせ】 県立宮下病院 ☎ 0241-52-2321

8月は「食品衛生月間」です

細菌が増殖しやすい夏場は、食中毒が発生しやすい季節です。

調理する前や食事の前に手洗いをしましょう。また、温度管理を徹底して細菌を増やさないようにしましょう。細菌の多くは加熱することで死滅するので、食材の中心までしっかり火を通すようにしましょう。

【お問い合わせ】 福島県会津保健福祉事務所 ☎ 0242-29-5516



昭和村電子図書館

Showa Village Digital Library

7月新着図書のご案内

今月新たに40冊の図書貸出を開始しました。
夏休み特集として、怪談やミステリー等ドキドキできるような作品が揃っておりますので、ぜひご利用ください！

【今月の新刊図書】

その他、導入した図書は
こちらをご覧ください。→



作品: ゆるゆるUMA図鑑
漫画: かげ
監修: 並木伸一郎
出版: 学研

作品: 怖い村の話
制作者: 都市ボーイズ
出版: 宝島社

作品: 眠れなくなるほど面白い
図解 天文学の話
制作者: 渡部潤一
出版: 日本文芸社

電子図書館の登録や利用方法など不明な点や、読みたい書籍のリクエストがございましたら
昭和村公民館 (0241-57-2114) までお気軽にお問い合わせください。

個人事業税の納税をお忘れなく！

個人事業税は、県内に事務所・事業所を設けて、物品販売業や不動産貸付業など、一定の事業を営んでいる方に納めていただく県の税金です。

会津地方振興局県税部から送付される納税通知書により、8月（第1期分）と11月（第2期分）の2回に分けて納めていただくことになっています。

ただし、年税額が1万円以下の場合には、8月（第1期分）に一括して納めていただくことになります。

個人事業税については、便利な口座振替の制度があります。

手続きは、納税通知書に同封の預金口座振替依頼書を金融機関に提出し、金融機関で確認を受けた後、納付書送付依頼書を県税部に提出して行います。

なお、詳しいことは、下記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ】 福島県会津地方振興局県税部 課税第一課 事業税チーム
☎ 0242-29-5251

アレクサンドラ 先生の小囁 #32

Alexandra Short Story

Festival food in Japan and Canada (日本とカナダのお祭り グルメ)



外国語指導助手 アレクサンドラ先生

(原文)

Dear Showa Village, Summer is festival season in Japan, especially in August. I thought it would be interesting to share some of the differences between festival food in Japan and Canada.

In Japan, festivals are closely associated with yatai, or food stalls, where people enjoy portable snacks as they stroll through the event. Popular festival foods include takoyaki, yakisoba, okonomiyaki, shaved ice, grilled corn, and candied fruit. These familiar dishes are enjoyed across the country and have become an essential part of the festival experience. In contrast, Canada does not have a single festival food tradition. Instead, the food varies depending on the event, location, and community. Agricultural fairs often feature poutine, mini donuts, corn dogs, funnel cakes, and barbecue, while multicultural festivals offer cuisines from around the world, including Greek, Ukrainian, Chinese, Caribbean, and Indigenous foods. As a result, Canadian festival food reflects the country's cultural diversity rather than a shared menu.

Another difference is the atmosphere. Japanese festivals feature rows of yatai, creating the familiar sights and smells that many people associate with a festival. Canadian festivals are more likely to feature food trucks, local vendors, and community organizations serving a wide variety of cuisines. Overall, Japan has a unified festival food culture, while Canada's festival foods reflect its multicultural identity and regional diversity.

Is this what you imagined Canadian festival food to be like?

Until next time!



(日本語訳)

昭和村の皆さん、日本では夏、特に8月はお祭りの季節ですね。そこで今回は、日本とカナダのお祭りグルメの違いについてご紹介したいと思います。

日本では、お祭りといえば屋台がつきものです。人々は屋台で買った軽食を片手に、会場を散策しながら楽しめます。定番の食べ物には、たこ焼き、焼きそば、お好み焼き、かき氷、焼きトウモロコシ、フルーツ飴などがあります。これらはお馴染みのメニューとして全国で親しまれていて、お祭りには欠かせない存在です。

一方、カナダには、これぞお祭りグルメという決まった伝統料理はありません。イベントや場所、地域によって提供される料理はさまざまです。農業フェアではプーティン（あたたかいソースのかかったフライドポテト）、ミニドーナツ、コーンドッグ（アメリカンドッグ）、ファンネルケーキ（揚げ菓子）、バーベキューなどがよく見られますし、多文化フェスティバルではギリシャ、ウクライナ、中国、カリブ海地域、そして先住民の料理など、世界各国のグルメが楽しめます。つまり、カナダのお祭りグルメは、特定の共通メニューがあるわけではなく、国の文化的多様性を反映しているのです。

もう一つの違いは雰囲気です。

日本のお祭りでは屋台がずらりと並び、多くの人がお祭りと言えば思い浮かべるお馴染みの光景や香りが広がります。

カナダのお祭りでは、フードトラックや地元の出店、地域団体などが多種多様な料理を提供することが一般的です。

まとめると、日本には統一されたお祭りグルメの文化があるのに対し、カナダのお祭りグルメはその多文化的なアイデンティティ（独自性）や地域ごとの多様性を反映していると言えます。

皆さんが想像していたカナダのお祭りグルメは、このようなものでしたか？

それでは、また次回まで！

アレクサンドラ先生が記事の内容を英語で話しています。QRコードからご覧ください。



〔連載〕 昭和村の歴史と文化
（第43回）

高温の作業場

菅家 博昭（大岐）

して生産者の作業場を見
てきた。

私は専業農家として葉
タバコ栽培から、かすみ
草や草花栽培に転換した。
1984年に大岐で昭和
花き研究会（代表菅家秋
男さん）が7名で設立さ
れたのも、7月14日の暑
い日でした。その10年後、
私がその任意団体の代表
として2015年まで、
途中下中津川の本名敬さ
んが担当されたりして継
続されてきた。現在は会
津よつば農協の昭和かす
み草部会に入会している。
私は都内で設立された
JFMA（日本フローラ
ルマーケティング協会）
の役員もしており、MP
Sジャパンという会社を
JFMAが設立し、その
活動にも長く関与してい
る。農水省の補助事業で、
切り花の品質管理認証制
度ということがはじまり
私はその現地審査担当と

3年に1回、生産部会
の3割程度の作業場を確
認すればよいのだが、今
回は、全戸を訪問した。農
協の営農担当の阿部寿也
さんとともに、5月から
7月21日まで火曜日・木
曜日の午前9時、訪問・
現場を見た。主要な点
は、かすみ草の前処理剤
の清潔度の計測で、ルミ
ノメータという1台15万
円ほどの検査機器、前
処理剤の入ったエルフバ
ケット等の水を試薬では
かり、数値を明示。それ
が1000RLU以下で
あることを確認、あるい
は超える場合の原因を生
産者とともに考え課題解
決する、ということをし
た。

認された。
今回訪問したのは82農
家。3年前と異なるのは、
作業場にエアコン設置が
進んで、かすみ草のみな
らず労働環境も改善され
ている。農家の作業場に
エアコン冷房機が設置さ
れているのは日本国内、
福島県内、会津地域でも
皆無に近い。

用する。
25年ほど前からこうし
た水揚げする水の問題を
村内の学習会で取り上げ
ると、体に良い沢水（山
水道）は健康にいいのに
どうして花の水揚げに使
用してはいけないのか？
という質問を多く受けた。
私は、生産者の夏の切
り花調整・水揚げ・出荷
梱包の現場を歩いてみて、
3年前とは意識が相当に
変化していること、また
畑での作のあり方なども
話をうかがうようにして
おり、若い生産者が着実
に育っていることを感じ
ている。



いることを感じ取った。

5月、6月、小野川地
区で、稲作のための水田
の復活作業のために、ま
ず耕耘して石を拾い肥料
袋に詰める、という作業
を見た。会津高田から来
て稲作を行っている宇野
君が中心となっているが、
作地の石を拾う生産者は
現在ほとんどいない。し
かし彼らは石を拾う、そ
こに永續利用を考えて



警察署からのお知らせ

犯罪に遭わないために

こんな言葉にだまされないで!! 闇バイトの可能性あります!



儲かる仕事があるよ!
誰でもできる簡単な仕事。
捕まらないよ。

先輩の指示に従い、
指定された場所に入
って物を取ってくる。

先輩

犯罪に加担し…逮捕!!
甘い話には乗らない!
こんな誘いを受けたら警察署に相談してください!

“薬物乱用”ダメ・ゼッタイ!

大麻、覚醒剤、危険ドラッグなどは、使用しているうちに、
依存症、幻覚・妄想、視力低下・失明などの副作用があり、自分や他人を傷つけ、死に至ることもあります。

誘われても、ハッキリ・キッパリ断ろう!!



昭和村内街頭犯罪等発生状況
(令和8年6月末現在)

区 分	管内	昭和村
凶 悪 犯		
粗 暴 犯	5	
空 き 巣		
事 務 所 荒 し		
出 店 荒 し		
その他侵入窃盗	4	
車 上 ね ら い		
万 引 き	6	
さい銭ねらい	2	
その他非侵入窃盗	7	
自 転 車 盗		
その他乗り物盗		
知 能 犯	1	
風 俗 犯		
その他刑法犯等	5	1
全 刑 法 犯	30	1

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和8年1月1日からの累計数になっています。



消防署からのお知らせ

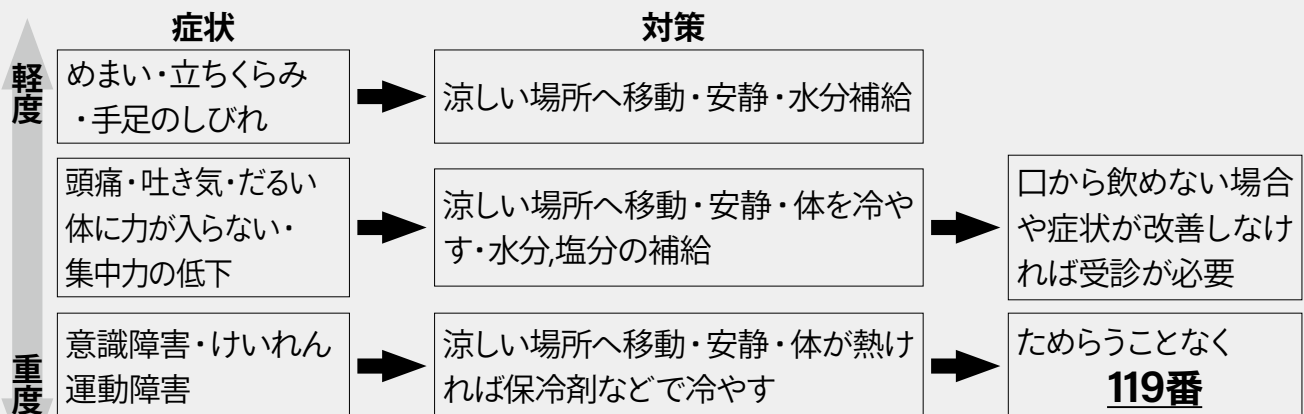
熱中症は予防が大事!

「熱中症警戒アラート」発表時は特に注意しましょう。

熱中症は炎天下でなるものと思いがちですが、室内でじっとしていても熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

《熱中症予防のポイント》

- ◆室温 28℃を超えないように、エアコンや扇風機をうまく使う!
- ◆のどが渇かなくても、渇く前にこまめに水分(塩分)補給!
- ◆無理をせず、適度に休憩を!
- ◆日頃から栄養バランスの良い食事と体づくりを!



火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所

☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>

＋ 8 月の休日当番医 ＋

8月9日(日) 昭和村国保診療所

☎ 0241-57-2255 (昭和村)

11日(火) 坂下厚生総合病院

☎ 0242-83-3511 (会津坂下町)

16日(日) 星医院

☎ 0242-83-2136 (会津坂下町)

23日(日) 金山町国保診療所

☎ 0241-54-2031 (金山町)

30日(日) 寿松堂渡辺医院

☎ 0242-83-3125 (会津坂下町)

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和8年6月1日～6月30日受付

● お誕生おめでとうございます

小島 ^{ゆずは} 柚羽ちゃん(耀・遥希)

● ご結婚おめでとうございます

今月の届け出はありません

● おくやみ申し上げます

栗城 孝さん 90歳 野尻
萬實 清男さん 79歳 喰丸
栗城 耕作さん 71歳 松山

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和8年7月1日現在※住民基本台帳人口

人 口	1,035 人	(± 0)	出 生	1 人
男	506 人	(± 0)	死 亡	3 人
女	529 人	(± 0)	転 入	2 人
世 帯 数	593 戸	(± 0)	転 出	0 人

◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

- ◎ 村県民税 2 期
- ◎ 国民健康保険税 2 期
- ◎ 後期高齢者医療保険料 1 期
- ◎ 介護保険料 2 期

〔納期限：令和8年8月31日〕

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

8月3日(月) 総合健診
8月4日(火) 総合健診
8月5日(水) 総合健診 } *受付時間について、個別の案内通知をご確認ください。

8月19日(水) ちょいフィット

14:00～ シニア向け運動教室(やさしいストレッチ)

18:30～ 青壮年(18歳～70歳前後)向け運動教室
(ストレッチ&脂肪燃焼運動)

8月26日(水) 乳幼児健診

9:30～

*つみきクラブ 毎週水曜日 9:00～11:30

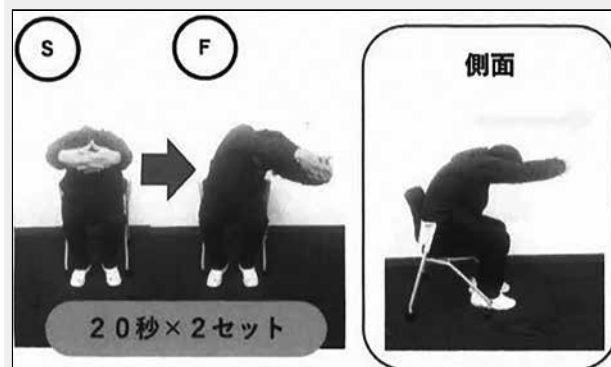
(会場の都合によりお部屋の変更または休止になる場合がありますのでご確認ください。)

<健康ミニ情報>

今月の運動教室の先生おすすめエクササイズです!

～お家でできる簡単エクササイズ～

背中ストレッチ



1. イスに座り姿勢を正す。
2. 手を組んで体の前へ。
3. 前へ引っ張られているイメージで、背中を丸める。
4. そのまま体を左右へ倒す。

※ストレッチ中は呼吸を止めないように!

※痛みがない範囲で伸ばす!

QRコードからエクササイズのチラシを確認できます。



交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。

4400 日目
(7/29時点)

地域おこし協力隊の活動報告

今月は、村民の皆さんと積極的に触れ合うため、スマホ・タブレット教室や地区普請への参加、からむしフェアでの運営補助などに取り組んできました。イベントを通じて温かく声をかけていただいたり、昭和村での暮らしや歴史、文化について教えていただいたりなど、多くの学びと出会いがあり大変うれしく感じています。

昭和村の魅力は自然や文化だけでなく、そこに暮らす皆さんの温かさにあることを日々実感しています。

今後も村の行事やイベントに積極的に参加し、より多くの方と交流を深めながら昭和村の魅力を発信してまいります。

イベントなどで見かけた際は、ぜひお気軽にお声がけいただけると嬉しいです！



佐藤 弘樹



みんなで育てる、村LINE公式アカウント

お友達の数、800人を超えました！たくさんのご登録ありがとうございます！

昭和村

LINE 公式アカウント

LINEで
「昭和村」を
友だち追加



ID:@showavill

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください。

LINEで

昭和村からの お知らせ

を受け取ろう!!

はた音

夏の季節になると、湯船に浸かる回数がどうしても減ってしまいます。でも、暑くても温泉にはつい入ってしまいますよね。もちろん、家の中の温度より温泉の方がずっと熱いので、温泉から出ると汗がどっと出てきます。

近々、山形県鶴岡市にある「あつみ温泉」や宮城県蔵王町の「遠刈田温泉」へ行く予定です。泉質は場所ごとに違いますが、私は湯の花が浮いていたり、濁りがあったり、硫黄の香りが強い温泉の方が、温泉に来たなど感じられて好きなんですよね。今年の夏は例年よりも騒々しい日が続きそうです（笑）。（た）

昭和村民憲章

一、伝えましょう
はた音の響き
一、守りましょう
手技の智慧
一、創りましょう
おいしい水
豊かな大地
一、育てましょう
健やかな心と体
長寿の里
助け合う心
いたわりの気持ち
一、広げましょう
明るい笑顔
みんなの和

皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp



長年使用されていなかった水路の土砂上げ



土砂上げにより、復活した水路



耕作放棄された田んぼの石拾い



集めた石がこんなにも！

地区の未来を彩り豊かに

多様な人材が関わり合い、未来に向けた協働が始まった！

point
03

大切なのは話し合い

偶然の連続が生んだ今回の事例ですが、確かなことが一つあります。一連の流れのきっかけは、担い手不足解消に向け地区が主体的に行動を起こしたことです。株式会社ノマディクスの方々の今後の定期的な来訪も決まりました。「小野川がこれから先も小野川として変わらずあるために、何かに挑戦する必要があったんだ。」と話す渡部区長と営家組合長。彼らの穏やかな表情から、小さくも確かな安堵感が見てとれます。

人の受け入れは大きな問題に発展することもあります。しかし、地区がしっかりと狙いを持って計画的に受け入れれば、今回の事例のようにバトンが繋がり困難な課題をパッと解決できる可能性を秘めています。

point
04

現状を知り、話し合う

村では、地区ごとの将来の姿をそれぞれの地域で考える「集落戦略」の策定を推進しています。地域での話し合いを通じた、現状の把握とそれらの課題解決に向けた取り組みを支援しています。具体的には、話し合いへの同席や統計データの提供、アンケート実施の支援・集計、他地域の事例提供など、地域の役員等だけでは実施することが難しい場合も策定に向けた支援を行っています。

地区の未来に向けてまずは、話し合いからはじめてみませんか。

【集落戦略に関するお問い合わせ】

総務課 企画創生係 ☎ 0241-42-7717



齋藤良一氏と株式会社ノマディクスの従業員

思いのバトンが繋げた縁

危機感から一歩踏み出した小野川地区に移住者が！

point 01

昭和村特有の温かさ

会津美里町の農業法人に所属していた宇野氏は、これらの取り組みに参加するうちに、何度も小野川へ足を運ぶようになりました。

「普請や地区行事、飲み会などでも地域の一員のように迎えてもらい、子育てをするならこういう地域がいいと思い、移住を決めました」と宇野氏。

移住後は水稻の有機栽培を始め、将来的には畑地利用されていたほ場で栽培面積を広げる予定でした。しかし、長年水田として利用されていなかったため、畦畔の崩れや水路の土砂詰まりなどの課題が多く、まずは耕作環境の整備から取り組むことになりました。

point 02

WIN×WIN の関係

耕作環境の整備では、長年放置されていた水路の土砂上げや、^ほ圃場に残る石の片づけなど、多くの時間と労力を要する作業が課題となっていました。

一方、宇野氏の事業パートナーである株式会社ノマディクスの小峯代表は、事業規模の拡大に伴う社員間のコミュニケーション不足を課題とし、社員が共同作業できる場を探していました。宇野氏の移住をきっかけに小野川地区を訪れた際、自社のニーズと地区の課題が一致したことから、今回の受け入れが実現しました。

総勢 65 名が作業に参加したことで、詰まっていた水路には水が戻り、ほ場の石も短時間で撤去されるなど、耕作環境は大きく改善されました。



広報

しよらわ

2026

8

No.687

ONOGAWA COLOR



小野川営農生産組合長
菅家 敏章氏

小野川地区移住者
宇野 宏泰氏

小野川区長
渡部 和雄氏

このままでは、獣達がすぐそこまで迫ってきてしまう！

耕作者がいなくなった田を引き受け、そばの作付を行っている小野川営農生産組合。耕作面積は約 5ha にも及びます。中山間地に暮らす私達にとって、耕作地があることによって、獣達との境界線が生じるため、組合は地域にとって必要な組織であるものの、構成員の高齢化や、働き方の多様化により若い世代の活動参加が難しく、先行きが不透明な状況となっていました。

他地区同様に担い手の確保に難儀している中で、「このままではいけない！」という思いから住民同士でじっくり話し合い、関係人口を増やし担い手不足解消に少しでも繋げたいという思いから、村や県の支援を受けながら大学生や農業ボランティアの受け入れに取り組むこととなりました。



専修大学生との地区散策の様子



農業ボランティア受入によるカヤ刈り

発行日：令和8年8月5日
発行：福島県昭和村
編集・企画：昭和村役場総務課

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島 652
TEL: 0241-57-2111 / FAX: 0241-57-3044
WEB: <https://www.vill.showa.fukushima.jp/>